

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 私が「私」であるということ 春に	1	○言葉の中の春を読む。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○表現の仕方について評価し、批評しようとしている。
立ってくる春	3	○文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。	○文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○表現の仕方について評価し、批評しようとしている。
なぜ物語が必要なのか	3	○文章の種類と特徴について理解を深める。 ○知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。	○文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○表現の仕方について評価し、批評しようとしている。
【話す聞く】 一言でまとめ一言から広げる	1	○言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。	○語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。	○積極的に場の状況に応じて言葉を選び、提案しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

私	5	○読書が自分と社会との関わりを支えている, ということを理解する。 ○文章を吟味して読み, 文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ○作品を読み, 人間, 社会などについて思いを巡らせ, 自分の意見をもつ。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において, 論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において, 文章を読んで考えを広げたり深めたりして, 人間, 社会, 自然などについて, 自分の意見をもっている。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し, 考えたことを説明しようとしている。
二 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた 薔薇のボタン	2	○目的に応じて本や文章などを読み, 知識を広げたり, 自分の考えを深めたりする。	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において, 文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において, 文章を読んで考えを広げたり深めたりして, 人間, 社会, 自然などについて, 自分の意見をもっている。	○文章の種類とその特徴について理解し, 考えたことについてまとめようとしている。
行書を深めよう	2	○行書の特徴について理解を深め, 筆使いに気をつけて書くことができる。 ○行書で学習したことを, 日常生活に生かしていくことができる。	○点画の変化や連続, 次の文字への筆脈を理解している。点画の変化や連続, 次の文字への筆脈を理解して書いている。	○点画の変化や連続, 次の文字への筆脈に関する筆使いを確かめ, 自己の課題を考えている。	○点画の変化や連続, 次の文字への筆脈について, 課題意識をもって取り組んでいる。
【話す聞く】 構成を考えて主張をまとめる	3	○社会生活の中から自分で課題を見つけ, 主張をまとめる。 ○自分の立場や意見を明確にし, 論理の展開や話の構成を工夫する。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「話すこと・聞くこと」において, 目的や場面に応じて, 伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において, 自分の立場や考えを明確にし, 話の構成を工夫している。	○情報の信頼性の確かめ方を理解して使い, 主張しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える	3	○新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ○社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○文章の種類とその特徴について理解し、考えたことについてまとめようとしている。
漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	1	○漢字の音の歴史についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○学年別配当表に示されている漢字を書き、文章の中で使おうとしている。
文法の小窓1 助詞のはたらき 文法(解説)1 助詞のはたらき	2	○助詞のはたらきについて理解する。	○助詞のはたらきについて理解している。		○単語のはたらきや文の成分を理解し、文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
三 人工知能の進化によって、そのような「知性」観の見直しが迫られている AIは哲学できるか	5	○「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ○事例や主張が適切かを考えながら読む。 ○文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。	○語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	○自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、批評する文章を書こうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

【書く】 具体例をもとに説明文を書く	5	○具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ○読み手に説明するために構成を工夫する。	○語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「書くこと」において、論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	○文章の種類を選択し、発表のための資料を作成しようとしている。
漢字の広場2 熟字訓	1	○熟字訓についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○学年別配当表に示されている漢字を書き、文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 言葉(解説)1 和語・漢語・外来語	1	○和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	○語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。		○単語のはたらきや文の成分を理解し、文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
四 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ async	3	○事例と主張とを関係づけて読む。 ○文章を比べ、評価しながら読む。 ○文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○文章の種類とその特徴について理解し、考えたことについてまとめようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

問いかける言葉	3	○事例と主張とを関係づけて読む。 ○文章を比べ、評価しながら読む。 ○文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○論理の展開の仕方を捉え、考えたことについて討論しようとしている。
書く】 説得力のある批評文を書く	5	○資料を比較して、自分の考えを整理する。 ○伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「書くこと」において、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し、批評する文章を書こうとしている。
文法の小窓2 助動詞のはたらき 文法(解説)2 助動詞のはたらき	2	○助動詞のはたらきについて理解する。	○助動詞などのはたらきについて理解している。		○単語のはたらきや文の成分を理解し、文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 言葉(解説)2 相手に対する配慮と表現	1	○場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。	○敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。		○相手や場に応じた言葉づかいを理解し、実生活への生かし方を考えようとしている。
ニュースで情報を編集する	2	○ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ○ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○文章の種類とその特徴について理解し、ニュースの形式にまとめようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

実用文を読む	1	○実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。	○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	○「読むこと」において、論理の展開の仕方などを捉えている。	○論理の展開を捉え、実生活への生かし方を考えようとしている。
行書と仮名を調和させて書こう	3	○行書と仮名を調和させて書くことができる。 ○行書で学習したことを、学習活動や日常生活に生かしていくことができる。	○点画の連続や配列の書き方を理解して書いている。 ○行書と仮名を調和よく書く書き方を理解し、書いている。	○点画の連続や配列の書き方や、行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を考えている。	○点画の連続や配列の書き方や、行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。
五月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり 旅への思い	4	○情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ○歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。
和歌の調べ	3	○古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ○和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。
風景と心情	3	○歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ○詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。
最後の一句	2	○わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

漢字の広場3 異字同訓	1	○異字同訓についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○学年別配当表に示されている漢字を書き、文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓3 慣用句・ことわざ 言葉(解説)3 慣用句・ことわざ	1	○慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	○慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。		○慣用句などについて理解し、実生活への生かし方を考えようとしている。
六 地上の道のようなもの 俳句の味わい	2	○言葉の意味を掘り起こして読む。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	○表現の仕方について評価し、批評しようとしている。
初恋	1	○表現上の工夫に注意して、暗唱する。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○「読むこと」において、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

故郷	7	○理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ○一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ○「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。
【書く】 自己PR文を書く	2	○読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ○読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	○自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、発表のための資料を作成しようとしている。
【話す聞く】 表現の工夫を評価してスピーチをする	2	○相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ○場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。	○語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○場の状況に応じて言葉を選び、主張しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

漢字の広場4 四字熟語	1	○四字熟語についての理解を深める。	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○学年別配当表に示されている漢字を書き、文章の中で使おうとしている。
書き初めを書く	3	○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ○中学校での書写学習のまとめとして、行書で書くことができる。	○行の中心や全体の調和、配列について理解している。行の中心や全体の調和を理解して、配列よく書いている。	○行の中心や全体の調和、配列について考えている。	○中学校での書写学習のまとめとして、意欲的に取り組んでいる。
七 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である。 持続可能な未来を創るために ——人間の生命・存在を考える ／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星	3	○持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○論理の展開の仕方を捉え、考えたことについて討論しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

話す聞く】 意見を共有しながら話し合う	2	○相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。	○敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「話すこと・聞くこと」において、話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○相手や場に応じた言葉づかいを理解し、討論しようとしている。
【書く】 情報をまとめて作品集を作る	4	○自分の文章の収集と整理をする。 ○学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	○発表のための資料を作成しようとしている。
多様な表現による文字	1	○身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。	○身のまわりで見かける、文字の表現効果について理解している。	○身のまわりで見かける、文字の表現効果について考えている。	○身のまわりで見かける、文字の表現効果に興味・関心をもっている。
効果的な文字を書く	1	○三年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かすことができる。	○楷書や行書の筆使い、字形を理解し、楷書や行書の筆使いや字形に気をつけて書いている。	○楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙について考えている。	○三年間の学習を生かして、楷書や行書の筆使いなどの習得に自己の課題をもって取り組んでいる。
八 人間というのは、どこまで いっても自分以外にはなれない ものだ バースデイ・ガール	2	○自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

青春の歌	1		○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○文章の種類とその特徴について理解し、批評しようとしている。
やわらかな想い	1		○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○表現の仕方について評価し、批評しようとしている。